



¥ 2022年1月31日 林元外務大臣への署名手交  
写真元: Change.org Japan, Youtube

¥ URL: [Change.org](https://change.org) オンライン署名 在外ネット投票の早期先行導入を求めます!

×  Petition · 在外ネット... **Post**   
change.org



# 在外ネット投票の早期 先行導入を求めます!

Started 4 November 2021  
Petition to [総務大臣](#) and [2 others](#)

**28,366** **35,000**

Signatures Next Goal

 Support now

**Sign this petition**



Started by 在外ネット投票署名活動

現在、全世界に135万人以上の日本人が海外に住んでいます。そのうちの約100万人が**憲法第15条**によって定められた「選挙権」を有する在外有権者です。

私たち在外有権者にとって、選挙権は一人ひとりが政治に声を届けるための大切な権利です。本来、日本に住んでいても、海外に住んでいても、有権者には平等に選挙権が与えられているはずですが、一人ひとりの一票の重みは同じです。しかしながら、今回の衆院選2021では、コロナ禍において、在外有権者の多くが在外公館投票できない、または郵便投票が間に合わないといった事態に見舞われました。

現在の紙ベースで問題の多い在外選挙制度の改善案として、本署名では、**在外ネット投票の早期先行導入を求めます**。具体的なスケジュールとして、**2022年夏の参院選までに在外投票からネット投票導入の実証実験、そして、2025年参院選から在外ネット投票の確実な全体運用開始を求めます**。

 Support now

**Sign this petition**



zoom

# 結論：在外ネット投票の早期先行導入を!

本署名で求めていること

**現状のアナログな在外選挙制度の問題解決として、在外ネット投票の早期導入を**

- 2021年衆院選の在外選挙において、コロナ禍、紛争等により在外公館投票できない、経済的・時間的・身体的・物理的な負担を強いられる、郵便投票が間に合わない、郵便紛失、票の無効といった問題が多発。

- 在外有権者約100万人。在外選挙人名簿登録者約10万人。実際に投票できている、している人は約2万人（在外有権者の約2%）。

- 憲法第15条によって定められた選挙権を行使できる仕組み、社会を作る必要性。

具体的なスケジュール

1. 2022年参院選における在外投票での実証実験（実現しなかったが、実証実験はすでに行われているため、ある程度はクリアか?）
2. **2025年参院選から在外ネット投票の導入、全体的な運用**

在外ネット投票署名活動としての次のアクション

今年中に河野デジタル大臣、松本総務大臣宛に署名を手交させていただきたい。

# 2021年衆院選 在外公館投票 在外投票トラブル

在外公館投票できない理由：

- 在外公館がない国や地域に居住。
- 在外公館から遠隔に住んでいる。
- 疫病、紛争、自然災害、途上国で交通網が発達していない、病気、怪我、妊娠、高齢、仕事、留学等。
- コロナ禍や紛争のため、約15か所の在外公館で在外公館投票が実施されず。在外公館投票の実施が平日たった1日だけという国や地域も。

※ 在外公館の職員が票を日本へ運ぶことによる物理的なりすく(空港閉鎖、飛行機が飛ばない、在外公館投票実施しない、または在外投票期間の短縮)

**在外有権者は、経済的、身体的、精神的、物理的、時間的な負担を強いられている現状。**

在外投票に行こうと大使館のホームページを見たら在外公館実施されないと判明。しかしその連絡が大使館から来なかった(東ティモール在住)

飛行機代6万円かけて在外公館投票に1日かけていった。在外投票疲れて死にそう(アメリカ在住)

強風で列車が止まり、通常片道1時間半の道のりを5時間かけて在外公館投票へ(ドイツ在住)

在外公館投票したが現在空港閉鎖中。館員が飛行機で票を運べないかも(結局違う空港から出発)(スーダン在住)

郵便投票が間に合わず、往復約8時間、交通費と宿泊費約26,000円かけて在外公館投票へ行った(イタリア在住)

郵便投票何度も試して一度も間に合ったことがない。2017年から飛行機で一人あたり350ドルかけて在外公館に行っている(ニュージーランド在住)

# 2021年衆院選 郵便投票 在外投票トラブル

## 郵便投票

2021年9月上旬、コロナ禍で在外公館投票ができない懸念から、大使館・領事館より在外有権者に対し**郵便投票を推奨**。

**国際郵便で一往復半、在外有権者が選管とやりとりするアナログなシステム**。投票用紙を送り返すことができるのが公示日の翌日から(2021年衆院選は公示日が10月19日。翌日の10月20日から投開票日10月31日の20時までに票が入らなければ無効)。

**郵便事情が悪い、国際郵便停止、紛失、遅れ、選管の手配ミス。  
郵便事情は不可抗力**

“  
**郵便投票無効 / 在外公館投票へ切り替え / 投票断念 / 国際郵便の経済的負担**

9月上旬に郵送した郵便投票の投票用紙請求が選管に届いていない(紛失か?)。在外選挙人証も同封しているので、在外公館投票への切り替えもできず(フランス在住)

在外公館は遠くて行けず、ブラジルと日本間の郵便が止まっているので郵便投票もできない(ブラジル在住)

郵便投票何度も試して一度も間に合ったことがない(ニュージーランド在住)

コロナ禍のため郵便投票で準備していたが、郵便事情が悪く途中で郵便投票が間に合わないと判明(イタリア在住)